

「千葉市空襲犠牲者の名前を読み上げ 心に刻むイベント」について

76 年前の日本では、毎日、大勢の人々が、自分の住む町で殺されていました。千葉市では、主な空襲が 3 回ありました。犠牲者は約 900 人と言われ、実数は定かではありません。千葉市で把握している犠牲者名簿もありますが、公表されてはいません。 発起人と有志の寄付によって、戦後 70 年の時、亥鼻公園に平和祈念碑を建立し、これまで広く市民に呼び掛け独自に作成した調査資料に基づいて犠牲者名を刻銘し、さらに毎年 追加や訂正をしながら現在までに 721 人のお名前が刻まれています。

なんの抵抗も出来ない市民が、突然命を奪われ、戦争犠牲者として公に認められていない ことはどんなに無念であろうかと思います。ひとり一人、お名前を読み上げることで、そこに一人の人間を思い浮かべることが出来ます。実感を伴う歴史の継承が出来るように思 います。6 月 9 日(水)~13 日(日)に千葉市きぼーるアトリウムで開く「千葉市平和のための戦争 展・ピースフェア 2021in 千葉」で、5 日に分けて読みますので、ご都合のいい日に、ぜひ、あなたもご一緒に読みあげてください。

・・・と、呼びかけたところ、新聞報道もなされ、電話やメールで参加表明が届き、当日、会場に来られた方もいて、空襲犠牲者 4 名の追加情報も寄せられて、合計 725 件の読み上げを、5 日間に分けて行いました。

毎回、竹山幸子さんによって、石垣りんさんの詩「弔辞」の朗読も行われ、一人一人の犠牲者に思いを寄せることができました。

今年、4 名のネームプレートを碑に追加し、平和祈念碑建立 6 周年のつどいを、7 月 7 日 (水) 午前 10 時より亥鼻公園の碑の前で行います。ささやかなつどいですが、どなたでもご参加ください。

平和祈念碑を守る会